

公共施設マネジメント白書の作成と有効活用

《施設白書の作成》

公共施設の建物(老朽度・耐震度)、運営(開館日・利用者・収入)、費用(人件費・光熱水費)などのコスト及びストック情報を集約化し、これらの情報を基に個々の施設の問題点や課題を明確にして市民に公表します。

市民に関心を持ってもらい、行政と市民が知恵を出し合いながら、施設のあり方や将来の方向性を模索していきます。

《施設白書の有効活用》

施設白書を活用した「施設改善・改修計画(案)」を作成し、改善・改修に必要な資金の平準化を図っていきます。将来負担を明らかにし、財政計画・行政経営に連動させていきます。特に地域に密着し、きめ細かく整備されている施設については、市民の理解を得ながら、また財源確保しながら、施設の再整備と一層の有効活用を図っていきます。

すべての公共施設を現状の規模のまま更新していくことは極めて困難。費用対効果情報を開示し客観的な検証が必要。施設の優先順位の設定が不可欠。

単なるカットではなく「できるだけ機能を維持しつつ、サービスの低下に繋がらない」知恵と工夫が必要。

メリハリの効いた効率的で質の高い施設サービスを提供していくための8つのポイント

1. 使用形態・利用形態の見直しによる効率的利用
2. 保有形態の見直し等による効率化
3. 運営面の効率化
4. スペースの効率的利活用
5. 建物のライフサイクル(建物の企画から始まり、設計・施工・運用・改修などを経て解体に至るまでの、建物の一生涯を表す)を通じた効率化
6. 集約化・合同化等による効率化
7. 情報化等による効率化
8. 予算面

施設白書に関する今後のスケジュール

平成22年度			平成23年度												
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
職員勉強会	市民代表意見交換会(勉強会)	議会意見交換会(勉強会)	市民との意見交換会(勉強会)				パブリックコメント	9月定例議会白書(案)公表	白書公表予定	市民を対象とした白書説明会					
1/13 ～ 1/14	2/22 ～ 2/23	3月末 予定	随時開催							随時開催					
施設白書の作成									施設白書の有効活用						